

市内南部合発で熱唱しました

7月26日

□7月26(日)、「市内南部合唱発表会」が「鶴見区民センター」で開催され、昴は本並先生指揮、静さんのピアノで「春を待つ」と「道」(古谷さんソロ)を熱唱しました。参加は全26名でした。



□本合発では、昴はシードされているため、推薦の審査対象ではありませんでしたので、次は9月22日(火・祝)に「LIC はびきの」で行われる「大阪のうたごえ合唱発表会」での本選へ向けて歌い込んでいくことになります。本選での「一般 B」の推薦枠は実力合唱団が競り合うなか、わずか2団体なので、昴としても、これからのレッスンで格段のレベルアップを図ることが要求されます。

□出場12団体のうち、推薦4団体と交流の部推薦1団体、準推薦1団体が下記のように決まりました。
・推薦；「新婦人ルンルン」、「関西紫金草合唱団」、「大阪府庁うたごえ合唱団」、「なのはな」(順不同)
・準推薦；「ロシア民謡合唱団コスモス」
・交流の部推薦；「グリーンコーラス」
(出場団体の中、「男声合唱団昴」と「衛都連は」シード、「ジューブシカ」は小編成のため、本合発での推薦対象外。)

□本並先生と相根さんは「極東シベリアから旧『満州』合唱交流の旅」から前日に大幅延着のご苦勞の末、帰国されたばかりの出演で、昴のほか、「関西紫金草合唱団」と「ロシア民謡合唱団コスモス」の指揮もされ、リハーサルも含め大活躍で、お疲れのところ大変でした。「合唱交流の旅」は向こうの合唱団との沢山の交流もあり、充実した旅だったようですが、詳しくは、ご夫婦で参加されていた吉川さんに次号に掲載するべく「旅行記」の作成をお願いしていますので、みなさんご期待ください。



□吉田亜矢子先生がゲスト出演

われらが吉田亜矢子先生が、本合発にゲスト出演され、「至福(シューベルト)」を始め、日本歌曲も織り交ぜて、アンコールの「アベマリア」に至るまで、本格ソプラノで熱唱され、観客の感嘆、感動を誘いました。ピアノは静さん。

□バスの乾さんが脊椎狭窄症の手術が成功し、昨25日に退院され、本合発に応援に見えました。術後の経過を心配していましたが快癒で、さすが乾さん、良かったよかった。

橋本邦久さん安らかに眠りください



□バリトンの橋本邦久さんが、星ヶ丘ホスピスで闘病中のところ7月25日(土)8時33分に永遠の眠りにつかれました。残念なことでありますがいまはただ、ご冥福をお祈りするのみです。

□葬儀は家族葬で行われましたが、古いお付き合いの中にあつたバスの石橋さんがお通夜に参加され、皆さんに報告がありました。

□本合発の会場の一角に昴が集合し、橋本さんの遺徳を偲び、ご冥福を祈って黙とうを捧げました。

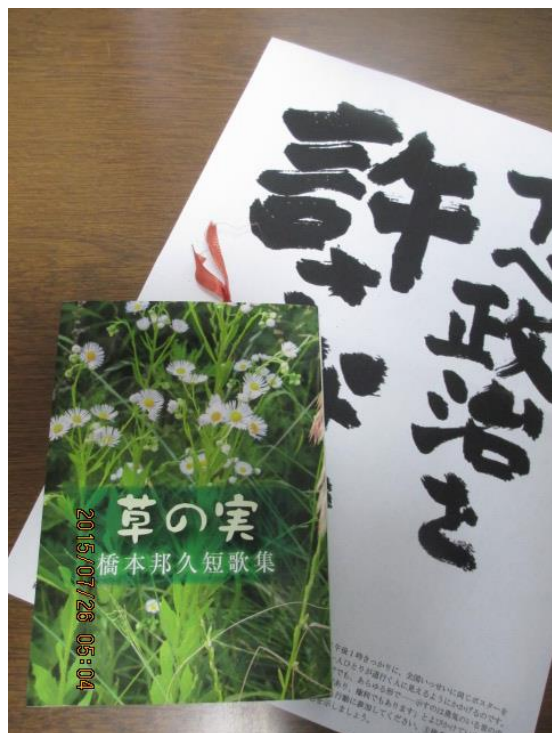


□「偲ぶ会」を計画しています。

草の実

「ロクさん」のブログから転載(左の写真とも)

敬愛する仲間の短歌集『草の実』が出版社から送られてきた。あとがきは彼の妻の執筆になっている。それだけで今置かれている状況がひしひしと伝わってくる。彼は病魔に侵され、力を振り絞ってこの本の出版にこぎつけた。僕と同じ年で同じ時代を同じように生きて来た。と言っても彼の才能は桁外れたもので、書もかけるし歌も詠めるし、男声合唱団『昴』の中心メンバーだし、短歌では選者を任されるぐらいの実力を持っている。何でもこなすスーパーマンだが、生きとし生けるものへの細やかな愛情に満ちたアンパンマン的優しさを持たれているので多くの人々から敬愛されている。



事業部こそ違え同じ傘下の会社だったのも、僕の大きな誇りになっている。『草の実』という歌集のネーミングに彼の思いが詰まっている気がする。病室から抜けだし“アベ政治

を許さない”のポスターを掲げて行進したいだろう彼の苛立ちまで伝わってくる。誰であろう彼こそ我々のヒーロー橋本邦久氏である。ぜひ『草の実』を手にとって読んでほしい。